



Team New Vision

旧校舎解体現場、埋蔵文化財発掘調査レポート!!

8月 21 日から、旧校舎の埋蔵文化財発掘調査が始まっています。現在、小規模調査がほぼ終わり、文化財保護課が現地を確認されて本調査範囲を検討中だそうです。

昨年の調査よりも多くの遺構が見つかったようです。なんと、竪穴式住居、かまど跡、その他たくさんの石器も出てきたようですよ。

竪穴式住居とは、縄文時代に作られるようになった住居のことです。地面を数十 cm 掘って半地下の居住空間(竪穴)を作り、木で柱を立て、土や葦(あし:草の一種)をかぶせて作られた家です。



発掘調査現場の様子



今回の見学では、敷地全体を見させていただきました。埋蔵文化センターの方から様々なお話を聞くことができました。

15 人 1 チームで発掘しています。学校の敷地は、長岡京に含まれるか、まだわかりません。西向日のあたりは長岡京に含まれました。



今、発掘しているところは、古墳時代と平安京時代が入り混じった地層です。写真に写っているのがなんと竪穴式住居の跡です。



古墳時代の土器の一部だそうです。韓国で使われている器に似た形のもので、お椀と蓋で1つのものです。昔は、身分に関わらず同じ器を使っていたそうです。



埋蔵文化センター方から、「遺跡見学や発掘体験、土器を触ったりすることもできます。向日が丘支援学校の児童生徒さん達も、ぜひ来ていただけたら」と言ってくれました。また、計画していきますので、楽しみにしてください。